

---

## 日頃の活動の実績と成果を持ち寄って

～中四国ブロック老人クラブリーダー研修会が開催されました～

---

去る6月27日（木）から2日間にわたり、平成の大遷宮が行われた出雲大社や、数々の神話が残る山陰島根県において、本年度の中四国ブロック老人クラブリーダー研修会が行われ、会場となった玉造温泉「長生閣」には各県の老人クラブリーダー約280名が参加しました（本県24名参加）。



初日、全老連齊藤事務局長から日本の将来人口推計や活性化3カ年計画の総括などについて基調報告があり、活性化へのポイントとしては、若手の加入ややる気が大事であること、全老連で策定中の新たな活性化策を元に、それぞれのクラブで磨きをかけて取り入れて欲しいとされました。また、これからは老人クラブからの情報発信の手段として、ホームページの作成を検討してほしいことなどを説明されました。

その後、各テーマに分かれての分科会が行われ、「健康づくり・介護予防活動の推進」をテーマとする第一分科会では、本県美馬市老連の小野寺会長から、事業を行うにあたっては「健康」が第一であり、美馬市における健康づくりに重点を置いた取り組み（ニュースポーツやウォーキング、介護予防教室）について発表されました。その他、各分科会では「若手高齢者の活動実践と加入促進」や「安心安全なまちづくりの推進」などをテーマに活発な討議が展開されました。



翌日、「地域活性化の一翼を担う老人クラブの役割」と題して、島根大学名誉教授の北川泉先生による講演があり、高齢社会を豊かなものにするため、高齢者自らが地域の活性化に取り組むことが大切であるとされ、羊を飼育し、羊毛を使った衣類の生産を行っている川本町の老人クラブの事例や、桃、ぶどうの栽培に加え、かぶとむしの採取・販売を行う安来市の老人クラブの事例などが紹介されました。ユーモアを交えた親しみやすい口調もあって終始和やかな雰囲気での講演となりました。

最後に前日行われた各分科会の報告と全体会が行われ、次回開催県となる愛媛県老連会長の挨拶で、全日程を終了し、島根県のキャラクターである「しまねっこ」の見送りで、会場を後にしました。